

(単位：千円)

事務事業名	土木積算システム管理事業			予算額	55,146	
局/部/課	建設局/技術管理課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	55,146	
<事業の目的・内容> 土木・下水道工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価、歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。				財政局長	55,146	
				要求		55,146
				査定区分	A	
				前年度予算額	42,187	
				増減	12,959	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	営繕積算システム管理事業			予算額	9,273	
局/部/課	建設局/技術管理課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	9,273	
<事業の目的・内容> 建築工事及び設備工事の設計積算業務において、効率化・迅速化を図るため、市全体で統一した単価、歩掛等を用いた電算システムの運用管理を行います。 また、設計積算業務を円滑に行うために、単価表・積算基準等の作成、改訂、データ管理を行います。				財政局長	9,273	
				要求		9,273
				査定区分	A	
				前年度予算額	10,633	
				増減	1,360	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	技術基準・技術管理事業			予算額	29,976	
局/部/課	建設局/技術管理課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	29,976	
<事業の目的・内容> 組織全体の技術管理体制を確立するために、公共工事における施工体制の適正化、公共工事コスト縮減対策の推進、建設副産物対策及び建設部門情報化の推進等に取組みます。 また、各種協議会・団体等への対応等、技術基準・技術管理全般についての事業を行います。				財政局長	29,976	
				要求		29,976
				査定区分	A	
				前年度予算額	24,480	
				増減	5,496	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	営繕事務事業（営繕課）			予算額	3,455	
局/部/課	建設局/建築部/営繕課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	3,455	
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の保全工事や新たな行政需要に基づく新增改築工事の設計業務と工事監理業務を行います。				財政局長	3,455	
				要求		3,455
				査定区分	A	
				前年度予算額	3,531	
				増減	76	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	営繕事務事業（保安全管理課）			予算額	71,028	
局/部/課	建設局/建築部/保安全管理課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	71,028	
<事業の目的・内容> 市有建築物の計画的な保全のため、施設情報の一元化管理を行い、耐震化を図るとともに保全計画を推進します。				財政局長	71,028	
				要求		71,028
				査定区分	A	
				前年度予算額	72,661	
				増減	1,633	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	営繕事務事業（設備課）			予算額	1,830	
局/部/課	建設局/建築部/設備課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	1目 土木総務費	市長	1,830	
<事業の目的・内容> 学校、保育園、公民館、消防庁舎等の市有施設の建設・改修工事等に関する設備の設計、積算、工事監理等を実施します。				財政局長	1,830	
				要求		1,830
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,877	
				増減	47	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	建築総務事務事業			予算額	555,955	
局/部/課	建設局/建築部/建築総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	2目 建築指導費	市長	555,955	
<事業の目的・内容> 建築に関する法の趣旨を尊び、無秩序な建築行為等を抑制するとともに建築物を常時適法な状態に維持し、安全で安心な住みよい街づくりを促進します。				財政局長	555,955	
				要求		644,515
				査定区分	B	
				前年度予算額	445,973	
				増減	109,982	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	建築確認事務事業			予算額	13,415	
局/部/課	建設局/建築部/建築行政課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.145	8款 土木費	1項 土木管理費	2目 建築指導費	市長	13,415	
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく建築物、昇降機等建築設備の建築確認審査、検査業務を実施します。				財政局長	13,415	
				要求		13,415
				査定区分	A	
				前年度予算額	16,371	
				増減	2,956	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	建築行政事務事業			予算額	24,867
局/部/課	建設局/建築部/建築行政課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 145	8款 土木費	1項 土木管理費	2目 建築指導費	市長	24,867
<事業の目的・内容> 建築基準法に基づく許可、認定、承認に関する業務及び区域等の指定に関する業務のほか、既存建築物に対する定期報告や防災査察等による指導業務並びに違反建築物に対する是正指導・命令に関する業務を実施します。 また、建築基準法に係る道路図及び調書の整備を行います。				財政局長	24,867
				要求	24,867
				査定区分	A
				前年度予算額	23,381
				増減	1,486
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	道路管理事業（土木総務課）			予算額	873,868
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 145	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	1目 道路橋りょう総務費	市長	873,875
<事業の目的・内容> 道路法第28条及び地方自治法第2条に基づく道路の管理事務で、市道の道路延長、幅員、面積等の測量を実施し、道路台帳(路線別求積図、現況平面図)の整備を行います。また、道路台帳の閲覧、道路の占用許可、境界確認等、市民に密着した窓口業務を実施することにより、市民に向けた正確な情報提供や道路管理の適正化を推進します。				財政局長	873,875
				要求	873,875
				査定区分	A
				前年度予算額	744,432
				増減	129,436
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	道路管理事業（道路環境課）			予算額	14,760
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 145	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	1目 道路橋りょう総務費	市長	14,760
<事業の目的・内容> 整備済の道路側溝の種類、流下方向を整理した台帳図を整備に合わせて修正することにより、最新の状況を把握し、窓口での問合せ等の業務に活用します。				財政局長	14,760
				要求	14,760
				査定区分	A
				前年度予算額	14,760
				増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	道路橋りょう事務事業			予算額	7,619
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 145	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	1目 道路橋りょう総務費	市長	7,619
<事業の目的・内容> 車両の賃借料や消耗品費等、日常業務を行う上で必要となる経常的な庶務経費です。				財政局長	7,619
				要求	7,619
				査定区分	A
				前年度予算額	5,796
				増減	1,823
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	道路移管事業			予算額	10,492	
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 145	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	1目 道路橋りょう総務費	市長	10,492	
<事業の目的・内容> 一定の条件に基づき、地元住民の要望を受け、私道路敷を本市に移管する手続きを進める際に、必要な測量経費を市が負担することにより、市民負担の軽減を図り、円滑な道路行政の確立及び良好な住環境を確保します。				財政局長	10,492	
				要求		10,492
				査定区分	A	
				前年度予算額	10,471	
				増減	21	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	私道舗装等整備助成事業			予算額	80,000	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 145	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	1目 道路橋りょう総務費	市長	80,000	
<事業の目的・内容> 市道として認定することが困難な私道の舗装等を行う者に対して、費用の一部を助成します。				財政局長	80,000	
				要求		80,000
				査定区分	A	
				前年度予算額	75,000	
				増減	5,000	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	道路維持事業			予算額	4,094,310	
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	2目 道路維持費	市長	4,058,574	
<事業の目的・内容> 道路パトロールや市民からの通報に基づき、舗装や道路付属物などの損傷箇所を修繕することにより、安心・安全で快適な道路環境を維持します。 また、スマイルロード整備事業においては、沿道の方々からの申請に基づき、用地の寄附や買収を伴わない道路の整備を進めます。				財政局長	4,052,474	
				要求		4,052,474
				査定区分	A	
				前年度予算額	4,057,476	
				増減	36,834	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	県臨時地方道償還金負担金			予算額	770,000	
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路新設改良費	市長	770,000	
<事業の目的・内容> 本市の政令市に移行に伴い、埼玉県との事務移譲協議に基づく事業であり、県が発行した臨時地方道整備事業債(一般分)の元金償還金の一部を負担するものです。				財政局長	770,000	
				要求		770,000
				査定区分	A	
				前年度予算額	770,000	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	道路整備事業			予算額	1,040,035			
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路新設改良費	市長	1,040,035			
<事業の目的・内容> 道路幅員が4メートル未満の道路においては、消防・救急などの緊急活動の妨げとなるほか、道路排水の悪い箇所があるなど様々な問題を抱えています。これらの問題に対処するため、沿道の方々からの要望に基づき、道路用地の寄附を受けて行う暮らしの道路整備事業により生活道路の整備を進めます。				財政局長	1,040,035			
				要求		1,040,035		
				査定区分	A			
				前年度予算額	1,009,356			
				増減	30,679			
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。							
事務事業名	道路管理事業（道路計画課）			予算額	30,529			
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路新設改良費	市長	30,529			
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹市道の整備を推進するための一般事務経費です。また、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行います。				財政局長	30,529			
				要求		30,529		
				査定区分	A			
				前年度予算額	30,238			
				増減	291			
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。							
事務事業名	道路新設改良事業			予算額	4,019,414			
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路新設改良費	市長	4,019,414			
<事業の目的・内容> 国県道及び基幹的市道の交通基盤となる幹線道路網を整備推進し、計画的に道路の新設及び道路拡幅改良を行う路線整備事業です。				財政局長	4,019,414			
				要求		4,019,414		
				査定区分	A			
				前年度予算額	3,464,683			
				増減	554,731			
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。							
事務事業名	国直轄道路事業負担金			予算額	400,000			
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 147	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	3目 道路新設改良費	市長	400,000			
<事業の目的・内容> 道路法第50条の規定により、国土交通省が直轄で施行する道路事業(新設、改築等)に対する負担金です。				財政局長	400,000			
				要求		400,000		
				査定区分	A			
				前年度予算額	500,000			
				増減	100,000			
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。							

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	橋りょう維持事業			予算額	865,200
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 149	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	4目 橋りょう維持費	市長	865,200
<事業の目的・内容> 橋りょうの老朽化による維持管理費のコスト縮減のために策定した「橋梁長寿命化修繕計画」や点検結果等に基づき補修、修繕を実施します。 また、震災時における道路ネットワークを確保するために耐震補強工事を行うことにより、橋梁機能を維持し、安心で安全な道路環境の向上を図ります。				財政局長	865,200
				要求	865,200
				査定区分	A
				前年度予算額	912,388
				増減	47,188
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	橋りょう整備事業			予算額	377,652
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 149	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	5目 橋りょう新設改良費	市長	377,652
<事業の目的・内容> 河川に架かる橋りょうについては、河川計画が事業化された際に河川改修断面に合わせた橋りょうへの架け替えが必要となることから、河川管理者と協議を行い、計画の進捗にあわせた整備事業を実施します。				財政局長	377,652
				要求	377,652
				査定区分	A
				前年度予算額	365,697
				増減	11,955
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	交通安全施設整備事業			予算額	2,009,060
局/部/課	建設局/土木部/道路環境課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 149	8款 土木費	2項 道路橋りょう費	6目 交通安全施設整備費	市長	2,009,060
<事業の目的・内容> 歩行者等の安全な通行を確保するため、幹線道路の歩道整備、特に主要駅周辺では防災上の観点から電線類の地中化も合わせて実施し、また、踏切内の歩行空間整備を行う踏切改良、車両や歩行者へ注意喚起を促す路面表示を警察と連携して行うあんしん歩行エリアの整備等を実施し、安全かつ快適な道路空間の確保を進めます。				財政局長	2,009,060
				要求	2,018,560
				査定区分	B
				前年度予算額	1,910,174
				増減	98,886
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	河川事務事業（土木総務課）			予算額	2,468
局/部/課	建設局/土木部/土木総務課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 151	8款 土木費	3項 河川費	1目 河川総務費	市長	2,468
<事業の目的・内容> 河川事業の管理運営を円滑に処理するために、河川賠償責任保険に関する事務及び河川改修事業の推進のための国県等関係省庁への要望及び県内の河川流域の市町村間の協力体制である協議会の運営に関する業務を実施します。				財政局長	2,468
				要求	2,468
				査定区分	A
				前年度予算額	2,462
				増減	6
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	河川事務事業（河川課）			予算額	4,032
局/部/課	建設局/土木部/河川課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 151	8款 土木費	3項 河川費	1目 河川総務費	市長	4,032
<事業の目的・内容> 河川事業を円滑に処理するための事務経費です。				財政局長	4,032
				要求	4,032
				査定区分	A
				前年度予算額	4,387
				増減	355
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	河川維持管理事業			予算額	743,002
局/部/課	建設局/土木部/河川課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 151	8款 土木費	3項 河川費	1目 河川総務費	市長	743,002
<事業の目的・内容> 治水安全度を確保するため、河川・水路の草刈、浚渫等を行い、ポンプ施設の維持管理を行います。また、緊急水害時においてポンプ、土のう等を設置します。				財政局長	743,002
				要求	743,002
				査定区分	A
				前年度予算額	756,099
				増減	13,097
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	水辺環境整備事業			予算額	8,434
局/部/課	建設局/土木部/河川課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 151	8款 土木費	3項 河川費	1目 河川総務費	市長	8,434
<事業の目的・内容> 生物と人間が共生できる豊かな自然と河川浄化を市民にアピールするため、清流の復活や水辺環境の整備・保全事業を実施します。				財政局長	8,434
				要求	8,434
				査定区分	A
				前年度予算額	8,440
				増減	6
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	河川改修事業			予算額	2,231,309
局/部/課	建設局/土木部/河川課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 151	8款 土木費	3項 河川費	2目 河川改良費	市長	2,231,309
<事業の目的・内容> 浸水被害を軽減し、流域の市民の安全を守るため、川幅を拡幅し、川底を掘り下げること等により、改修工事を進め、1時間当たり30～50mmの雨量に対応する整備を行います。また、都市化の著しい河川流域における雨量流出量の増大等に対応するため、流域内の小中学校及び公園に貯留浸透の設置を進め、治水安全度の向上を目指します。				財政局長	2,231,309
				要求	2,418,359
				査定区分	B
				前年度予算額	2,735,305
				増減	503,996
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	都市下水道維持管理事業			予算額	8,563
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.153	8款 土木費	3項 河川費	3目 都市下水道費	市長	8,563
<事業の目的・内容> 都市下水道施設の機能管理の充実を図り、環境整備の向上に資するものです。				財政局長	8,563
				要求	8,563
				査定区分	A
				前年度予算額	23,806
				増減	15,243
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	排水路維持管理事業			予算額	359,600
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.153	8款 土木費	3項 河川費	3目 都市下水道費	市長	359,600
<事業の目的・内容> 市街化区域内の排水路施設の機能管理の充実を図り、環境整備の向上及び市民の安全を確保するものです。				財政局長	359,600
				要求	385,600
				査定区分	B
				前年度予算額	297,285
				増減	62,315
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	芝川都市下水道維持管理負担金			予算額	5,634
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.153	8款 土木費	3項 河川費	3目 都市下水道費	市長	5,634
<事業の目的・内容> 桶川市を起点とする上尾市、本市を流下する芝川都市下水道の維持管理を三市の相互協力による共同事業を行うための負担金です。				財政局長	5,634
				要求	8,334
				査定区分	C
				前年度予算額	7,884
				増減	2,250
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	南下新井汚水処理場使用料賦課徴収事業			予算額	988
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.153	8款 土木費	3項 河川費	4目 排水処理費	市長	988
<事業の目的・内容> 南下新井汚水処理場の利用に係る使用料の賦課徴収事務を、水道料金の徴収業務と一元化して実施するため、水道局に対して本使用料の徴収経費等を負担するものです。				財政局長	988
				要求	988
				査定区分	A
				前年度予算額	986
				増減	2
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	南下新井汚水処理場維持管理事業			予算額	22,820		
局/部/課	建設局/下水道部/下水処理センター			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 153	8款 土木費	3項 河川費	4目 排水処理費	市長	22,820		
<事業の目的・内容> 南下新井汚水処理場は、岩槻区南部の大字南下新井地区及び大字黒谷地区の一部(12.3ha)を処理区域とする、し尿処理施設です。この施設を適切に維持管理することにより、区域内住民の健全な公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全を図ります。				財政局長	22,820		
				要求		23,270	
				査定区分	B		
				前年度予算額	13,820		
				増減	9,000		
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。						
事務事業名	街路管理事業			予算額	240,473		
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 157	8款 土木費	4項 都市計画費	3目 街路事業費	市長	239,786		
<事業の目的・内容> 街路事業を整備推進するための一般事務経費、取得事業用地の維持管理及び暫定整備を行います。また、取得事業用地にスポーツもできる多目的広場を整備します。				財政局長	221,886		
				要求		452,061	
				査定区分	D		
				前年度予算額	181,145		
				増減	59,328		
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。 なお多目的広場整備経費について、市長査定で増額しました。						
事務事業名	街路整備事業			予算額	8,424,020		
局/部/課	建設局/土木部/道路計画課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 157	8款 土木費	4項 都市計画費	3目 街路事業費	市長	8,382,020		
<事業の目的・内容> 都市計画道路の整備を積極的に進めることにより、市内の交通渋滞の緩和や快適な市民生活と円滑な都市活動を確保し、物流の効率化や市街地の活性化等に効果をもたらすことを目的とします。				財政局長	8,382,020		
				要求		11,167,542	
				査定区分	C		
				前年度予算額	9,263,614		
				増減	839,594		
査定の考え方	土地開発公社からの事業用地の買戻しについては、2月補正予算にて前倒し計上しました。						
事務事業名	市営住宅維持管理事業			予算額	554,105		
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 161	8款 土木費	7項 住宅費	1目 住宅管理費	市長	554,105		
<事業の目的・内容> 住宅に困窮する市民に対し、良質・低廉な家賃の住宅を安定的に供給するために、募集から住宅及び付帯設備の管理まで適切かつ合理的に行います。				財政局長	554,105		
				要求		554,120	
				査定区分	B		
				前年度予算額	548,925		
				増減	5,180		
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。						

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	浸水住宅改良資金貸付事業			予算額	760	
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.161	8款 土木費	7項 住宅費	1目 住宅管理費	市長	760	
<事業の目的・内容> 市民生活の安定を図るため、降雨等により浸水する専用住宅を改良しようとする市民に必要な資金の融資を行います。				財政局長	760	
				要求		760
				査定区分	A	
				前年度予算額	760	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	長期優良住宅認定事業			予算額	1,302	
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.161	8款 土木費	7項 住宅費	1目 住宅管理費	市長	1,302	
<事業の目的・内容> 長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅の普及を促進するため、建築及び維持保全に関する長期優良住宅建築等計画の認定を行います。				財政局長	1,302	
				要求		1,302
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,079	
				増減	223	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	住宅政策推進事業			予算額	60	
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.161	8款 土木費	7項 住宅費	1目 住宅管理費	市長	60	
<事業の目的・内容> 埼玉県マンション居住支援ネットワークに加盟し、地方公共団体、NPO法人、専門家団体、公益企業団体及び広域的支援団体が相互に密接に連携する支援ネットワークを構築し、適切な情報提供及び普及啓発を行います。				財政局長	60	
				要求		275
				査定区分	E	
				前年度予算額	60	
				増減	0	
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。					
事務事業名	民間優良賃貸住宅整備助成事業			予算額	19,368	
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.161	8款 土木費	7項 住宅費	1目 住宅管理費	市長	19,368	
<事業の目的・内容> 中堅所得ファミリー世帯向け及び高齢者世帯向けの一定基準を満たす優良な賃貸住宅の供給計画を市長が認定し、その認定事業者に対して国及び市が入居者の家賃の減額に要する費用の一部を助成します。				財政局長	19,368	
				要求		19,368
				査定区分	A	
				前年度予算額	19,368	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	市営住宅建替事業			予算額	74,601	
局/部/課	建設局/建築部/住宅課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.163	8款 土木費	7項 住宅費	2目 住宅建設費	市長	74,601	
<事業の目的・内容> 市営住宅は昭和30年代後半から40年代にかけて建設された住宅が多く存在しており、建物の老朽化が進行していることから、安心して暮らせる住まいづくりを推進するため、老朽化が顕著と認められる市営住宅について計画的な建替えを実施します。				財政局長	74,601	
				要求		86,433
				査定区分	B	
				前年度予算額	15,412	
				増減	59,189	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	下水道事業会計繰出金			予算額	7,209,161	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.163	8款 土木費	8項 公共下水道費	1目 公共下水道費	市長	7,209,161	
<事業の目的・内容> 下水道事業における公費負担分(雨水処理費他)を一般会計で負担し、かつ、汚水処理費における下水道使用料等の支出に対する不足分を補助します。				財政局長	7,280,641	
				要求		7,280,641
				査定区分	B	
				前年度予算額	7,124,519	
				増減	84,642	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	災害復旧費(河川課)			予算額	2	
局/部/課	建設局/土木部/河川課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.191	11款 災害復旧費	2項 土木施設災害復旧費	1目 土木施設災害復旧費	市長	2	
<事業の目的・内容> 大規模災害発時に土木施設の復旧を速やかに行います。				財政局長	2	
				要求		2
				査定区分	A	
				前年度予算額	2	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

[査定区分] A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。